

光射せ!

北朝鮮収容所国家からの解放を目指す理論誌

第6号 (2010年12月6日)



特集1、朝鮮高校無償化問題、新たな局面

2、帰れ!! 日本人妻

3、永田絃次郎(金永吉)生誕100年

北朝鮮帰国者の^{いのち}生命と人権を守る会

目次

特集1 朝鮮高校無償化問題、新たな局面へ

守る会・三浦小太郎代表に聞く

朝鮮高校無償化問題で新たな局面

8

守る会
緊急声明

朝鮮学校授業料無償化の決定に抗議し、

国会での再検討を求める守る会声明 11

詐術の菅内閣、文科省と偽装の朝鮮総連の合作 12

— 国民をだまして朝鮮高校授業料無償化を強行 —

朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会代表

萩原 遼

元朝鮮学校
生徒が赤らるに
語る!!

朝鮮学校の「民族教育」は

授業料無償化に値しない

朝鮮学校修了生

元 智 慧 21

朝鮮学校教育の抜本的改善を求める 総連への要望書 29

(一九九八年十二月五日) 東京朝鮮中高校・新校舎建設委員会

日本国民の税金を何故注ぎ込むのか 45

— 朝鮮学校の教育内容 —

山田 喜弘

帰れ!! 日本人妻

日本人妻問題を正面から描いた映画



「鳥の翼を折る」

を観て 50

北朝鮮帰国者の生命と
人権を守る会 代表

三浦 小太郎

もうひとつの拉致 — ある日本人妻の帰国 —

61

脱北帰国者・作家

韓 錫圭

「日本人妻自由往来実現運動の会」の会報

『望郷』より 日本人妻からの手紙 (3通) 78

永田絃次郎生誕一〇〇年

「韓国併合」一〇〇年と永田絃次郎 (金 永吉) 82

コリア音楽研究所所長

李 喆 雨

資料 CD案内全21曲紹介、永田絃次郎の年譜 90

コリア音楽研究所所長 李 喆 雨

産経新聞連載「北に消えたテナー」 94

— 永田絃次郎の生涯（北朝鮮編） —

喜多 由浩

偉大な将軍様が記憶しておられる音楽家 99

— 功勲俳優、金永吉にかんする話 —

（訳・依藤 朝子）キム・インチョル

朝鮮戦争 六十周年

日本人も参戦した朝鮮戦争 109

東京新聞記者 五味 洋治

『朝鮮戦争』とKLO 118

現代朝鮮史家・ノンフィクション作家 萩原 遼

朝鮮戦争・ベトナム戦争とアメリカ文学 126

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 事務局長 依藤 朝子

長編小説『霧が流れる丘』批判と「党の唯一思想体系」 141

— 文化芸術分野における金日成絶対化への道 —

専攻・朝鮮文化論 大場 和幸

金正日に鉄槌が下される日… 162 神奈川県在住 金 基燦

「断つ制裁」から「つながる制裁」へ 165

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 会員 北村 武則

大義に生きる 173

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 会員 安藤 火山

萩原遼・訳『現代朝鮮歴史』高級2を読む 175

在日朝鮮人史専攻 安部 南牛

私が親朝観光団体を解任された顛末 180

レインボー通商 代表 宮川 淳

連載2 日本の植民地時代に女学生だった私



183

ロサンゼルス在住 韓国人画家 ドーラ・キム

編集あとがき 190

光射せ！バック・ナンバーあります

1~3・5号は各900円＋送料100円。4号のみ1,300円＋送料170円。

創刊1号

北朝鮮全体主義体制と強制収容所 ―〈イデオロギー〉と〈テロル〉― 小沼 聖司
北朝鮮の人権問題に冷たい人権派記者 坂元 正三
テッサ・モーリス・スズキ氏の帰国事業日本責任論を批判する 川島 高峰
北朝鮮に人権(拉致)査察を 岡田 和典
強制収容所廃絶運動をどう進めたらよいか
―とくに左翼・人権派の人々、否、すべての人々に訴える― 小川 晴久
今こそ、勇気を サルトルが指し示す脱北者の救援
―左派の挫折を乗り越えた知の巨人の生涯― 三浦 小太郎
宮本顕治の北朝鮮政策 萩原 遼
左翼「リベラル」は何故北朝鮮の人権侵害に及び腰なのか？ 長迫 厚樹

在庫あと少し!!

創刊2号

北朝鮮帰国事業とその被害者たち ―帰国者九万三千人とその家族に人権の光を― 山田 文明
訴状(全文) “私と帰国者を地獄につき落した責任をとれ!”
―脱北女性 高政美さんが朝鮮総連を提訴―
朝鮮総連の答弁書 被告総連に「準備書面(2)」で徹底反論 ―総連答弁書の「求釈明事項」に対し―
資料集 資料Ⅰ 地獄へのマニュアル/資料Ⅱ 寺尾五郎著『三八度線の北(抄)』/
資料Ⅲ 『新しい世代』(朝鮮青年社 1960年4月号)
運動をもう一度市民の手に ―拉致救出運動に関連してささかの苦言とささやかな提言を― 北村 武則
ソルジュニーツィン「収容所群島」 三浦 小太郎
私が宮本顕治を見限ったとき ―一九八四年にながかったか― 萩原 遼

創刊3号

北朝鮮難民救援基金の東京弁護士会人権賞受賞の意味 弁護士 木村 晋介
民社党員としての自分と北朝鮮人権問題について
拓殖大学海外事情研究所教授・特定失踪者問題調査会代表 荒木 和博
ある、ぞっとする話 ―政府の情報管理、情報収集はどうなっているのか―
特定失踪者問題調査会・常務理事 岡田 和典
小田実なぜ北朝鮮に騙されたのか ―「ただの人」の視線の錯誤―評論家・守る会代表 三浦 小太郎
“れじすたんの日々新たな いのちに向かって生きる” 守る会名誉代表 萩原 遼
和田春樹「史学」の怪 富山大学名誉教授(ロシア思想史) 藤井 一行
資料第2弾 寺尾五郎著『三八度線の北』(新日本出版社一九五九年)

第4号

金日成が発動した壮大な誘拐 ―北朝鮮帰国事業の真実 守る会・副代表 山田 文明
朝鮮総連による帰国事業の実態 ―虚偽宣伝・帰国者集団の組織化・財産支配そして拉致― 山田 文明
北朝鮮帰還事業、今、その真実を語る ―テッサ・モーリス・スズキ氏の虚偽について―
明治大学情報コミュニケーション学部准教授 川島 高峰
帰国事業五〇周年に思う 『北朝鮮帰国事業関係資料集』刊行のころを振り返って
法政大学教授・守る会会員 高柳 俊男

の脱 手北 記者

両親は北で恨みをのんで死んだ 脱北帰国者 榊原 洋子
不思議の国のアリス ―ある日本人妻の運命― 脱北帰国者 韓 錫 圭
脱北者の使命として ―朝鮮総連提訴の高政美さんに聞く― 守る会 坂元 正三

のし 証 たり 言 側 出

北送船のクラップは、北朝鮮・収容所の入口だった 神奈川県在住 金 基 燦
帰国者の女性と文通五十年 横田めぐみさん等被拉致日本人救出の会・会長 小島 晴則
帰国協力運動を省みる ―大阪での活動を中心に― 元日朝協会大阪府連青年部長・常任理事 八木 隆

近くて近い国 ―「朝鮮」とかわかった自分史― 守る会・会員 安藤 火山
朝鮮戦争に「参戦」した日本共産党 ―日本共産党史のリセットを― 元枚方事件被告 脇田 憲一
和田春樹「史学」の怪(続) 富山大学名誉教授(ロシア思想史) 藤井 一行
脱北帰国者受け入れの諸矛盾 ―いくつかの個人的体験― 守る会・代表 三浦 小太郎

編集あとがき

♥前号に続いて高校授業料無償化問題の特集しました。文科省の「教育の中身は問わない」との方針にたいし、各方面からおかしいではないかとのきびしい批判がありましたが、11月5日高木義明文科大臣は朝鮮高校寄りの主張にそって授業料無償化に踏みきました。ところが、11月20日付け産経新聞によると、金正日独裁政権の225局(元の対外連絡部)が朝鮮総連を叱りつけて断固拒否せよと指令。無条件で金を出せとのごり押し方針を出しました。

11月23日、幹部が会議を開いて意思統一のさなか、北朝鮮から韓国への島への砲撃事件。文科相は「重大な決意」などと称して見直しめいた発言。右往左往とはこのことです。大臣の定見の無さはまたひっくり返る可能性も。ならずもの国家に毅然と対応しなければどこまでも悪くなるという証明です。

♥15年間朝鮮学校に通った在日朝鮮人青年の文章は、学校の中身を体験した者ならではの説得力で暴いており、文科相にぜひ読ませましょう。

♥各執筆者がすぐれた論考をお寄せくださり、盛りだくさんになりました。日本人妻の問題はいまに始まったことではありませんが、いまこそ取り戻すためにみなさまの力をお借りしたいと思います。世論を高めましょう。脱北者の作家韓錫圭氏の「ある拉致」は日本人妻の数奇の運命を描いています。

♥コリア音楽研究所長の李喆雨さんは永田紘次郎(金永吉)に深くかかわってこられましたが、それらを本誌のためにご提供くださいました。金永吉の名誉回復は喜ばしいですが、北への帰国が悲劇に終わったことは残念でなりません。とくに北川民子さんの過酷な運命を想像するだけで涙です。

朝鮮文化論を専攻する研究者・大場和幸さんの力作『「霧が流れる丘」批判と『党の唯一思想体系』』は、40年近い研究成果が盛られています。

現役の東京新聞記者の五味洋治さんやその他の執筆者の方がたにも誌上をお借りして厚くお礼申しあげます。

♥『光射せ!』が緊迫する情勢の道しるべとなるならば編集スタッフ一同これ以上の喜びはありません。次号は2011年6月初めに発行予定です。ご寄稿をお待ちします。
(萩原 遼)

『光射せ!』第6号

発行日	2010年12月6日
発行人	三浦 小太郎
編集人	萩原 遼
発行所	北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会
連絡先	〒581-0868 大阪府八尾市西山本町7-6-5 3F TEL・FAX 072-990-2887
頒 価	900円 送料 100円